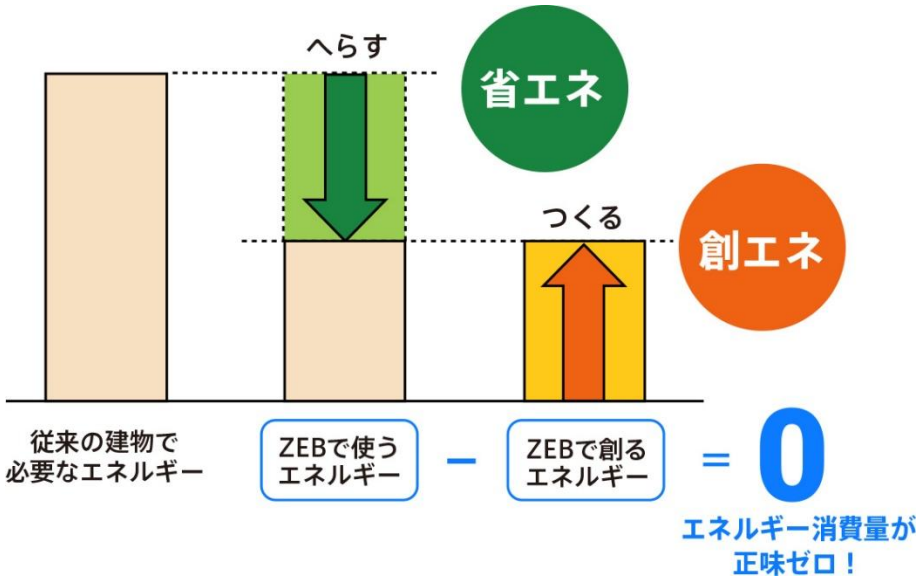
3.「ZEB」について

ZEB とは？

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができます。



ZEB のメリット

ZEB には、エネルギー消費量が削減できること以外にも様々なメリットがあり、公共建築物の場合は次のような点が挙げられます。

① 災害などでエネルギーが不足しても建物内での活動が可能になる。
② 断熱構造等を進めることで職員の満足性や業務効率が向上する。
③ 自治体の顔としての魅力向上。

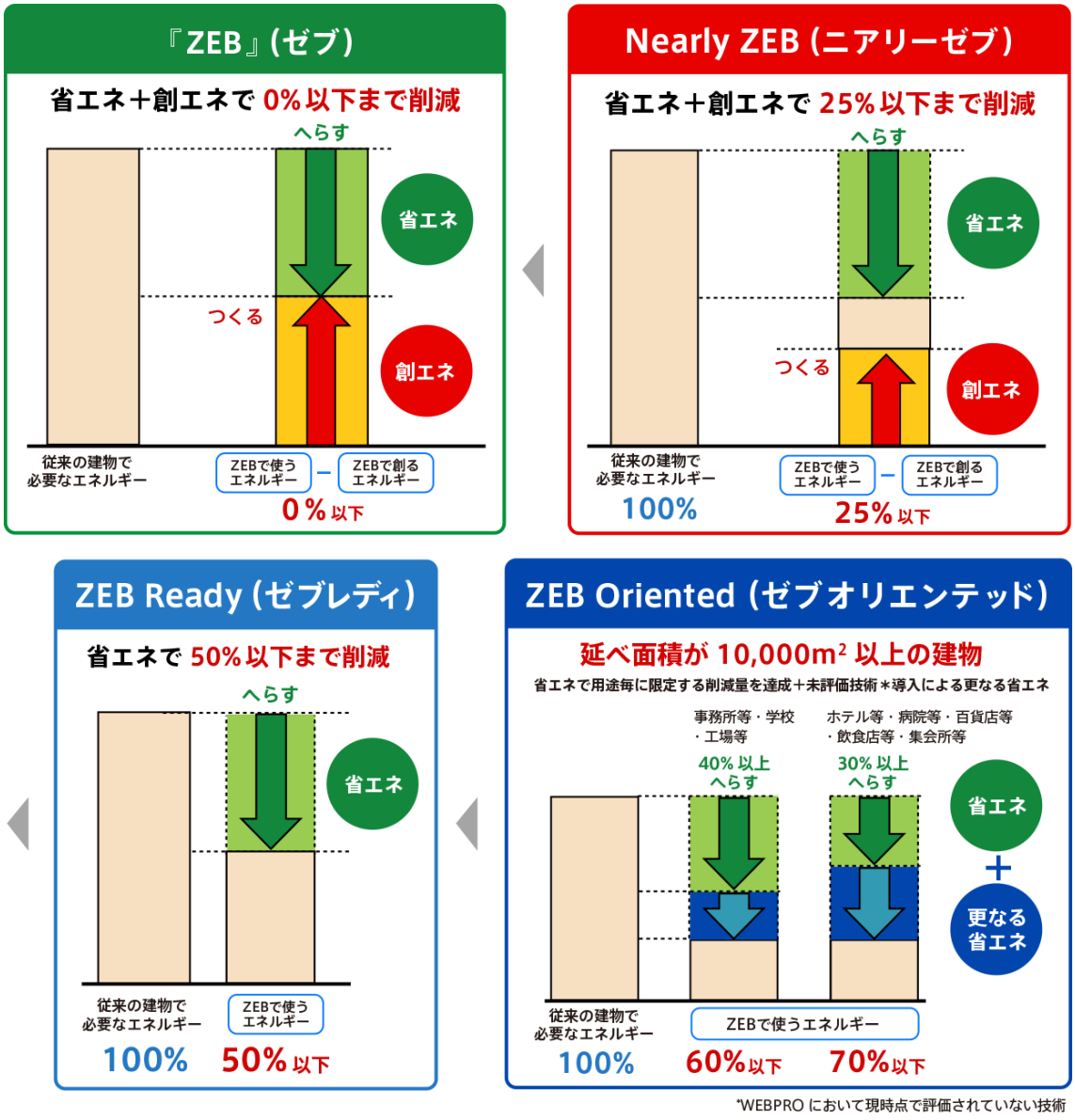
立場によって得られるメリットは異なるものの、全ての人々に対して ZEB のメリットは存在しています。そのため、ZEB を実現・普及させるためには、各立場の人々が自らのメリットを理解した上で協力していくことが必要です。

※本文は環境省　ZEB PORTAL（ゼブ・ポータル）の HP より抜粋し近藤が作成
参考：https://www.env.go.jp/earth/zeb/about/index.html

ZEB の定義の拡充

経済産業省資源エネルギー庁「ZEB ロードマップフォローアップ委員会とりまとめ」では、延べ面積 10,000 ㎡以上の建築物は、年間の新築着工に占める割合が棟数ベースでは 1%程度ですが、エネルギー消費量ベースでは 36%程度と大きく、新築建築物全体のエネルギー消費量に与える影響が大きいことから、エネルギー基本計画で設定した 2030 年目標を達成するためには、延べ面積 10,000 ㎡以上の建築物における ZEB 化の実現・普及が重要となると考えられます。

そこで、ZEB の定義において、延べ面積 10,000 ㎡以上の建築物を対象とし、「ZEB Oriented」を追加するとともに、これまで建築物全体（非住宅部分）でのみ ZEB の評価を可能としていた複数用途建築物について、建築物（非住宅部分）のうち一部の建物用途においても評価可能となるよう、複数用途建築物における ZEB の評価方法を拡充しています。



*WEBPRO において現時点で評価されていない技術